

通し番号	3869
------	------

分類番号	13.6B.22.15
------	-------------

(成果情報名) カナガワヨークとランドレース系統造成豚との相性検定試験	
<p>[要約] ランドレース種の系統豚造成を行っているが、将来の交配豚であるカナガワヨークとの組合せの相性を良好なものとするため、両豚の組合せによるF1母豚の生産さらに肉豚の生産検定試験を行い、系統造成、選抜の一助としている。</p> <p>平成12年度は、第3世代豚とカナガワヨークとのF1による肉豚生産と第4世代とカナガワヨークの交配によるF1生産を行った。</p> <p>F1の生産では、新系統豚各世代とカナガワヨークとの各組合せでもおおむね順調な成績であった。</p> <p>3元交雑種の生産(F1母豚の分娩)も各組合せ間の差は認められなかった。肥育期間も通常の肥育豚と同様であった。</p>	
(実施機関・部名) 畜産研究所・畜産工学部	連絡先 046-238-4056

[背景・ねらい]

新系統豚の造成にあたり将来の交配豚であるカナガワヨークとの組合せの相性を良好なものとし、高品質で低コストな豚肉生産を推進するため、両豚の組合せによるF1母豚の生産さらに肉豚の生産を行う。これによって、優良、不良な血統の確認を行い、新系統豚造成、選抜の一助とする。

[成果の内容・特徴]

1 F1母豚生産検定試験

各交配とも概ね順調な成績であった。第5世代豚とカナガワヨークの交配では、流産があったため分娩腹数は少なかったが、産子数等の成績は良好であった。F1の生産では、雑種強制によるF1効果がよく反映されているようである。産子数・育成率等において問題はなく、新系統豚とカナガワヨークの相性は良いと考えられる。

2 肉豚生産検定試験

各交配とも概ね良好な成績であったが、産子数において若干低い傾向であった。肉豚生産としては、新系統豚とカナガワヨークの相性は良いと考えられる。

3 肉豚産肉能力検定試験

105kg到達日齢は175日以下、一日平均増体重は720g以上であった。枝肉歩留は65%前後、背腰長は、70cm前後であった。平均脂肪厚は26mm前後、ロース断面積は20cm³以上であった。これは、一般の肉豚と比較しても良好な成績であり、新系統豚とカナガワヨークの相性は良いと考えられる。

[成果の活用面・留意点]

新系統造成豚の完成と同時に活用予定である。

[具体的データ]

表1 繁殖成績(F1生産)

	交配雌数	交配雄数	分娩頭数	分娩時期	平均産子数			離乳頭数			育成率	離乳時 総体重	合計候 補頭数	
					合計	雌	雄	死産等	合計	雌				雄
L2×W	5	3	5	98.12.21~12.6	8.8	4.2	4.6	0.6	8.8	4.2	4.6	100%	-	19
W×L2	5	1	5	98.12.2~99.2.5	10.8	5.6	5.2	1.4	9.6	5.6	4.0	88.9%	69.6	23
L3×W	5	3	3	99.11.7~11.12	9.3	5.0	4.3	0.7	7.3	4.7	2.6	78.5%	-	13
W×L3	7	3	7	2000.1.1~2.21	10.3	-	-	0.6	9.3	4.2	5.1	90.3%	-	29
L4×W	5	3	5	2001.1.2~4.3	11.2	4.0	7.2	2.2	9.6	3.6	6.0	85.7%	50.9	-
L5×W	5	1	2	2001.10.31~11.2	10.5	5.0	5.5	0.0	9.5	5.0	4.5	90.5%	55.9	10

平均産子数合計は、死産等を除いた生産子豚数

表2 繁殖成績(肉豚生産)

	交配雌数	交配雄数	分娩頭数	分娩時期	平均産子数			離乳頭数			育成率	離乳時 総体重	
					合計	雌	雄	死産等	合計	雌			雄
L2W×D	10	4	10	99.9.15~11.23	9.0	5.2	3.8	0.3	8.3	4.7	3.6	92%	44.9
WL2×D	10	4	6	99.11.30~2000.2.8	9.7	5.5	4.2	0.3	8.7	5.2	3.5	89.7%	51.4
L3W×D	10	5	10	2000.1.5~2.20	10.4	-	-	-	9.7	-	-	93%	-
WL3×D	10	4	10	2000.1.20~2.2	9.5	4.8	4.7	0.4	9.2	4.7	4.5	96.8%	-
L4W×D	10	6	6	2001.2.7~2.9	9.7	6.3	3.3	0	8.7	5.7	3.0	92.9%	52.2

平均産子数合計は、死産等を除いた生産子豚数

WL2×Dは、交配頭数のうち1頭は流産

表3 産能能力検定成績

	105kg日齢	一日平均増体重	飼料要求率	出荷体重	枝肉重量	枝肉歩留	八八率	背骨長	平均脂肪厚	胸断面積	胸骨指数	
L2W・D	(10)	169.8	827.6	3.24	110.1	71.9	65.3	28.3	70.1	26.7	23.7	21.3
	(10)	175.8	759.9	3.39	107.7	70.2	65.2	28.9	69.4	24.7	23.9	21.2
	全体(20)	172.9	792.0	3.32	108.8	71.0	65.3	28.6	69.7	25.6	23.8	21.3
L3W・D	(11)	166.2	723.8	3.28	113.5	72.4	63.8	29.3	69.9	27.6	20.5	21.1
	(9)	163.0	733.4	3.16	112.6	72.9	64.8	30.1	69.8	25.7	23.2	20.9
	全体(20)	164.8	728.2	3.23	113.1	72.6	64.2	29.7	69.9	26.8	21.7	21.0

[資料名] 平成13年度試験研究成績書(繁殖工学・養豚)

[研究課題名] カガノクとランドレース系統造成豚との相性検定試験

[研究期間] 平成10~14年度

[研究者担当名] 亀井勝浩・青木稔・小嶋信雄・仲沢慶紀